

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（954））
2. 日 時：平成30年5月17日 18時10分～19時15分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

津金主任安全審査官、植木主任安全審査官、照井安全審査官、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：東海第二発電所 保守室 副室長 他9名

東北電力株式会社：原子力部(原子力技術) 担当

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 課長 他1名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 機械保守課 担当

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備）担当

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、5月14日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る強度に関する説明書について、説明があった。
- (2) 原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。
＜燃料プール冷却浄化系の管の基本板厚計算書＞
 - 燃料プール冷却浄化系概略系統図について、代替燃料プール冷却系への分岐先に弁があるか確認すること。
 - 設計・建設規格による散水管の穴の強度計算書について、穴と長手継手が重複しないため許容引張応力に係数を考慮しないとする考え方を整理して提示すること。また、継手効率を1.00とする理由を記載すること。
- (3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・クラス2管の強度計算書の説明分類
- ・クラス3管の強度計算書の説明分類
- ・重大事故等クラス2管の強度計算書の説明分類
- ・V-3-2-7 クラス3管の強度計算方法
- ・V-3-2-11 重大事故等クラス2管の強度計算方法
- ・V-3-9-2-4-1-2 管の基本板厚計算書
- ・V-3-6-2-1-3 管の基本板厚計算書
- ・V-3-5-1-1-1 管の基本板厚計算書
- ・重大事故等クラス2容器の強度計算書の説明分類

- ・ V-3-5-6-1-2 残留熱除去系海水系ストレーナの強度計算書
- ・ V-3-10-1-1-1-3 非常用ディーゼル発電機用海水ストレーナの強度計算書
- ・ V-3-10-1-1-2-3 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機海水ストレーナの強度計算書
- ・ クラス 1 弁の強度計算書の説明分類
- ・ V-3-2-3 クラス 1 弁の強度計算方法
- ・ V-3-5-3-1-4 弁の強度計算書
- ・ 重大事故等クラス 2 ポンプの強度計算書の説明分類
- ・ V-3-5-5-1-1 原子炉隔離時冷却系ポンプの強度計算書
- ・ V-3-5-4-5-1 常設低圧代替注水系ポンプの強度計算書
- ・ V-3-5-4-6-1 代替循環冷却系ポンプの強度計算書
- ・ V-3-1-1 強度計算の基本方針の概要
- ・ V-3-1-7 重大事故等クラス 3 機器の強度評価の基本方針